

ひふみのあゆみ 2015年02月03日号

ひふみ投信 2015年1月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークス株式会社
 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第1151号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
 お客さまの資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
 2015年1月の運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告いたします。

ひふみ投信の基準価額について

（基準日：2015年1月30日）

基準価額（1万口当り）	28,463 円
純資産総額	175.40億円
受益権総口数	6,162,514,704 口

基準価額とは「ひふみ投信」の値段のことです。

お客様の保有口数合計です

■ 基準価額の推移



基準価額は、信託報酬（年1.0584%（税抜年0.980%））を控除した後の数値です。

【注】TOPIX（配当込）は、当初設定日前日である2008年9月30日の値（1311.57）を10,000として指数化しています。

TOPIX（配当込）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは東証株価指数のことで、東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額（株数×1株当たり時価）の合計を指数化して算出され、日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。そして、TOPIX（配当込）とは、配当収益を考慮して東京証券取引所が算出・公表している指数です。

■ 運用成績について

	基準価額のあゆみ [騰落率]	TOPIX（配当込） 騰落率
過去1ヵ月	1.15%	0.54%
過去3ヵ月	8.73%	6.25%
過去6ヵ月	9.97%	10.70%
過去1年	14.19%	18.28%
過去3年	134.96%	99.59%
設定来(※)	184.63%	47.61%

※ 基準価額は当初募集価額（10,000円）から2015年1月30日まで、TOPIX（配当込）は当初設定日前日である2008年9月30日から2015年1月30日までに於ける数値です。

■ 過去5期の分配金

支払い済分配金	
第2期（2010年9月30日）	0円
第3期（2011年9月30日）	0円
第4期（2012年10月1日）	0円
第5期（2013年9月30日）	0円
第6期（2014年9月30日）	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

ひふみ投信マザーファンドの資産内容について

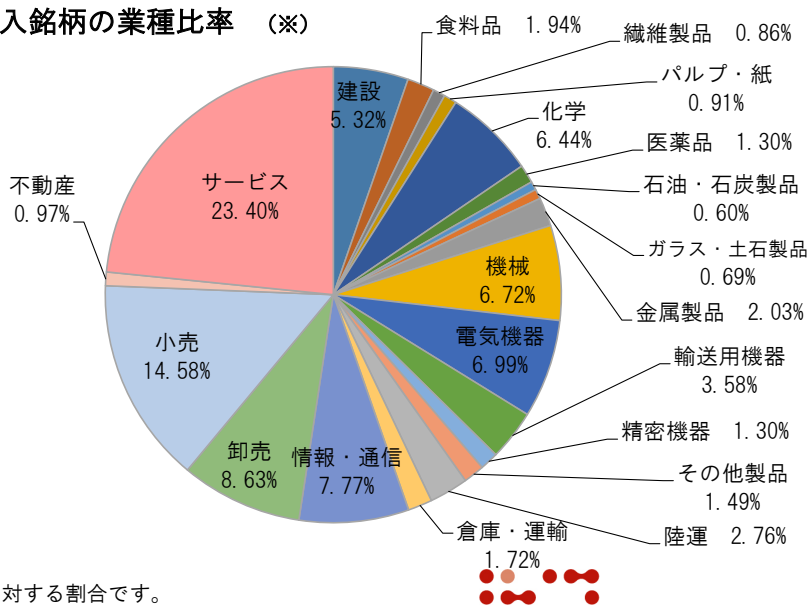
（2015年1月30日時点）

ひふみ投信は、ひふみ投信マザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式等に投資しています。

■ 資産の内訳

純資産総額	378.87億円
国内株式	96.51%
海外株式	0.00%
預金その他	3.49%
組入銘柄数	103銘柄

■ 組入銘柄の業種比率（※）



■ 市場別の構成比率（※）

東京一部	82.30%
東京二部	2.14%
マザーズ	5.29%
JASDAQ	10.28%

（※）マザーファンドの「株式資産」を100として、それに対する割合です。

■ 組入比率の高い上位10銘柄 (組入銘柄数：103銘柄)

	銘柄コード	銘柄名	比率	業種	市場	銘柄紹介
1	6366	千代田化工建設	2.41%	建設	東京一部	LNG液化プラントで世界トップレベルの実績をもつプラントエンジニアリング会社。水素供給事業にも注目。
2	2445	エスアールジータカミヤ	2.37%	サービス	東京一部	建機リースや足場などのレンタル・販売を行う関西の企業。創業者の高宮家のリーダーシップで業界をリード。
3	4901	富士フイルムホールディングス	2.32%	化学	東京一部	新中期計画では増配・自社株買いなど株主還元策の強化とROE7%目標を表明、M&Aにも積極投資へ。
4	3769	GMOペイメントゲートウェイ	2.23%	情報・通信	東京一部	GMOグループの企業で、日本の電子商取引企業や政府・官公庁などの決済処理サービス企業大手。
5	8876	リロ・ホールディング	2.14%	サービス	東京一部	企業福利厚生総合アウトソーサーで、企業が福利厚生を外部委託化する動きで恩恵を受ける。
6	9616	共立メンテナンス	2.09%	サービス	東京一部	寮とホテルの運営会社。「ドリーミン」ホテルは2020年のオリンピックまで外国人観光客の恩恵を受ける。
7	3076	あいホールディングス	2.08%	卸売	東京一部	オーナーの佐々木秀吉氏の経営手腕が秀でていて、事業ポートフォリオが安定成長分野で構成されている。
8	3328	B E E N O S	2.02%	小売	マザーズ	インターネット通販サイトの運営などを行なう企業。創業者佐藤氏のベンチャースピリッツでアジア・アフリカの有望なネット起業を発掘しつつ、直井社長が転送コムを始め国内の事業をしっかりと見ている。
9	2181	テンプホールディングス	1.96%	サービス	東京一部	人材派遣、紹介の総合企業。人手不足が叫ばれる中、日本の成長を人材の供給で支える企業。
10	1802	大林組	1.82%	建設	東京一部	リニア新幹線や品川～田町駅間の新駅再開発、羽田空港アクセス新線などJR関連の大型プロジェクト多数。

(※) 組入比率はマザーファンドの「純資産総額」に対する割合です。

◆ 1月の投資環境（株式市場等での出来事）について

1月の株式相場は、海外発のリスクから軟調な滑り出しとなりましたが、過剰流動性（金余り）や官製相場の継続期待から後半は切り返し、月末の日経平均株価は前月比1.3%高の17,674.39円で終わりました。

1月の日経平均株価は、ポジション調整に伴う年末年始の米国株安の流れから軟調なスタートを切ると、翌日にはギリシャのユーロ離脱懸念や原油一段安を受けて3%超の大幅安を余儀なくされました。その後は原油反発やECB（欧州中央銀行）による量的緩和策の発表期待が下支えとなって切り返す動きを見せましたが、9日に発表された米雇用統計で賃金の低下が明らかとなると、再びリスク回避姿勢が強まり、円買い・株売りの流れに戻りました。更に、世界銀行による世界経済見通しの下方修正を受けて銅価格が5年半ぶりの水準まで急落する等、商品価格安がセンチメント悪化に拍車を掛ける形となり、日経平均株価は16日に16,592.57円と約2ヵ月半ぶりの安値水準まで下落しました。1月4日から16日までの海外投資家による日本株（現物、先物含む）の売り越し金額は約2兆円に膨らみ、世界的なリスク回避姿勢の強まりを印象付けました。

しかし月半ばを過ぎると、ECBの量的緩和策への期待が一段と高まり独DAX指数は過去最高値を更新した他、米国株安も一服する等、センチメント改善の兆しが見え始めました。日本株も海外株高の流れを受けて反発に転じると、期待されていたECB理事会では事前予想以上の大規模な量的緩和策が発表され、日経平均株価は大発会の水準まで戻りました。

月後半にかけては、ギリシャ総選挙での急進左派連合の圧勝に伴う同国のユーロ離脱懸念再燃や、冴えない米企業決算等を背景に米国株は再び軟調な展開となりました。また強弱材料が入り混じるなかでドル/円相場は方向感に欠ける動きに終始しましたが、日本株には公的年金と噂される大口の現物買いが連日で観測され、日経平均株価は一段高を演じ、前月比プラス圏で月末を迎えました。

◆ 運用責任者よりお客様へ

◆ 1月の運用ならびに今後について（運用や見直しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります）

1月の株式相場は、欧州域内のデフレ懸念やギリシャ政局の混乱などによる欧州の不透明感が前半の下落要因となりましたが、ECB（欧州中央銀行）の量的緩和政策決定や企業業績への期待などから反転し、日経平均株価・TOPIX（東証株価指数）とも昨年12月比でプラスで終える結果となりました。

この様な状況の中ひふみ投信では、引き続き独自の強みを持つ成長企業や資本効率の改善により企業価値の拡大が期待される企業への投資を中心に運用を行っています。1月においては、水素事業の成長が期待される千代田化工建設（6366）の買い増しなどを行ないました。また、2013年5月から組入れているB E E N O S（3328）は、独自のビジネスモデルと業績成長性がマーケットで評価されて株価が大きく上昇したことから、ポートフォリオの上位に位置する結果となりました。1月の運用成績は、東証株価指数（TOPIX）を上回り、前月末から+1.15%の成績となり、1月28日には基準価額の最高値を更新しました。

2015年に入ってから、金融市場では相場変動が大きくなっており、為替や商品相場にその動きが顕著に見られます。特に、原油価格の下落による影響は大きく、米国では資源関連企業の株価にマイナスの影響がでており、市場の重しになっています。

一方で原油価格の下落は、国内の幅広い業種において、コストを低下できる点でプラスの効果があります。千代田化工建設のように原油価格の影響が短期的にはマイナスに作用する企業にも積極的に投資するとともに、上述のように原油安がプラスに作用する企業への投資も積極的に検討していこうと考えています。

ただ、しかしながら、私どもの投資方針は短期的な景気変動や相場変動にかかわらず成長が期待できる企業に投資することですので、大原則としてはその方針をしっかりと堅持してこれからもよい企業を発掘してまいります。

（ひふみ投信 運用責任者 藤野英人）

組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

◆ ひふみ投信の概要について

※詳しくは投資信託説明書（目論見書）をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日（休業日の場合、翌営業日）	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金（解約）単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。 ひふみ投信は、税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。	

◆ 「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります（**株価変動リスク**）。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります（**為替変動リスクとカントリーリスク**）。したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

◆ お客様にご負担いただく費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.0584%（税抜年0.980%）
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.0054%（税抜年0.005%） （なお、上限を年間54万円（税抜50万円）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- ・本資料は、レオス・キャピタルワークス（以下「当社」といいます。）が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（目論見書）の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】レオス・キャピタルワークス(株)コミュニケーション・センター

電話：03-6266-0123（平日9時～17時）メール：cc@rheos.jp

